

東北地域事業用自動車安全対策会議における

乗合バス分科会の活動概要（令和4年度）

1. 個別課題

車内事故防止

2. 構成委員※団体名のみ記載（順不同）

宮城交通株式会社

株式会社ミヤコーバス

仙台市交通局

愛子観光バス株式会社

株式会社タケヤ交通

公益社団法人宮城県バス協会

東北運輸局（事務局）

3. 検討会の開催

第1回検討会（令和4年7月22日）

第2回検討会（令和4年9月6日）

第3回検討会（令和5年2月20日）

4. 取り組み事項

① 車内事故啓発動画の運転免許センターにおける上映を依頼

宮城県警察本部に依頼し、運転免許更新の講習時に啓発動画を上映いただいているほか、啓発動画のQRコード入りのティッシュも配布いただいております。一般ドライバーへの周知につなげている。

② 大学生協や病院での周知活動

バス利用者が多いと思われる施設等に対して、啓発動画の上映とティッシュの配布を依頼する予定としていたが、新型コロナウイルスの感染拡大等により中止となった。

③ ドライバー異常時対応システムの体験会

車内事故防止にも繋がるドライバー異常時対応システムの体験会を事業者対象に開催した。実際にシステムを作動させて体験することにより、乗務員への指導や利用者への啓発の際に役立てていただくこととした。

東北運輸局ホームページへの掲載

〇一般ドライバー等へのご協力のお願い

乗合バスの急ブレーキ等の要因として、一般車両による急な割り込み等、バス車面付近の一般車両の動きによるものも発生しています。

更なる事故削減のため、バス車面付近の一般ドライバー等には、安全運転に努めていただくようご協力をお願いします。

<一般ドライバー等に向けた啓発動画>

下記掲載先又は下記画像をクリックし、乗合バスの車内事故防止の啓発動画（音声無し）をご覧ください。掲載先にショートバージョンとして、ケース①(22秒) ケース②(22秒) も公開されています。

掲載：東北六県バス協会連合会 公式YouTubeチャンネル

URL: <https://www.youtube.com/channel/UJGzeLkRjUvne3Yp3vKv9wA/featured>



(動画再生時間: 1分15秒)

映像提供: 関東地区バス安全対策協議会

関東6都県バス協会



バスの「ドライバー異常時対応システム」体験会を開催しました

～バス運転者の意識喪失による事故を未然に防ぎます～

東北運輸局では、バスのより一層の安全安心をめざし、(公社)宮城県バス協会及び宮城県内バス事業者と連携して、バスのドライバーが疾病等により運転継続困難となった際に車両を緊急停止させる「ドライバー異常時対応システム」の体験会を実車を使用して開催しました。

自動車の運転者が病気等により運転中に意識を失った場合、運転者による回避や減速が行われないため、他の車両や物件に衝突した際に、大きな被害を出す可能性があります。

特にバスにおいては、1台で多くの乗客を乗せるため、運転者が運転中に意識を失った場合、非常に重大な事故となる可能性があります。

そのため、自動車運送事業者においては、運転者の健康状態を把握するとともに、乗務前の点呼において安全な運転をすることができないおそれの有無を把握することが義務付けられているものの、人の病気を事前に知ることは難しいことから、運転者の意識喪失から事故に至る事例があとを絶ちません。

今般、当該システムを搭載したバスが、実車を使用して実際にどのようにして安全に停止するかを体験する機会を企画しました。

本体験会は、当該システムの操作方法をご理解いただき、システム作動時を体験していただくことで幅広い周知に繋げることにし、事故の未然防止を図ることを目的としたものです。



・上記システム搭載バスの車内に体験者10名程度を乗せて走行(40～50km/h程度)させる。

・運転者が意識喪失したとし、非常ブレーキスイッチを押す。

・スイッチ押下後、アクセルペダルを踏んでも無効となることを確認する。

※スイッチ押下後、運転者は運転操作を行わないが、万が一に備えている状態です。

東北地域事業用自動車安全対策会議における タクシー分科会の活動概要（令和4年度）

1. 個別課題

死傷事故による死者数ゼロ

2. 構成委員

別紙のとおり

3. 検討会の開催

第1回検討会（令和4年9月1日）

第2回検討会（令和5年3月24日）

（第2回は書面により開催）

4. 取り組み事項

① ロービーム等夜間見通し体験会

タクシー運転者にハイビームの有効性を認識してもらうための手法として、実車を使用して夜間前方に設置したダミー人形をロービームで視認できるかの体験会を東北各県において開催した。

② ドライブレコーダー映像の共有化

各事業者において、ドライブレコーダーを活用した事故防止の教育を実施しているが、小規模の事業者ほど、事例が少ないことから、同一地域における他の事業者のドライブレコーダーの映像を共有する仕組みを創設できないか検討した。実現には至らなかったものの、幅広い事故情報やヒヤリハット情報の有効性について認識を深めることができた。

東北運輸局ホームページへの掲載

国土交通省 東北運輸局

タクシーによる「ロービーム等夜間見通し体験会」を開催しました

～ 路上横断者事故の防止に向けて ～

東北運輸局では、タクシーが路上横断者を横過する事故を防止するため、（一社）宮城県タクシー協会及び宮城県内タクシー事業者と連携して、実車を使用した体験会を開催しました。また、対向車のヘッドライトによる蒸発現象の体験も併せて実施しました。

<結論>

- ・夜間の路上横断者はきわめて視認しにくいことを確認
- ・そうした状況下でもハイビームであれば、比較的視認しやすく、安全に停車が可能（40～50km/hの場合）
- ・蒸発現象が発生すると、歩行者が全く見えなくなることがあることを確認
- ・車両の違いによるヘッドライトやテールランプの距離感の見え方の違いを確認

タクシーは、夜間に交通量が少なく暗い道を走行することが多いことから、他の業態と比較して路上横断者^{※1}を横過^{※2}する事故が多い傾向にあります。このような事故を防止するためには、ハイビームの活用が有効であるものの、路上横断に係る事故を分析すると、必ずしもハイビームを使用していない状況です。

今般、運転者にハイビームの有効性を認識してもらうための手法として、実車を使用して夜間前方に設置したダミー（路上横断者を模したもの）をロービームで視認できるか体験する機会を企画しました。本体験会は、この手法を幅広く展開し各事業者において開催していただき、同種事故の防止について、運転者にわかりやすく注意喚起・教育していただくことを目的としたものです。

※1 路上横断とは、飲酒等による路上での寝込みや倒れ込み等 ※2 横過とは、車両が人をひくこと

【開催日時・場所】

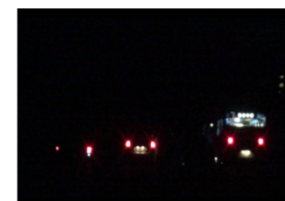
令和4年11月22日（火曜日）17時00分～19時00分
宮城県総合運動公園グランディ・21 第7駐車場

【体験会概要】

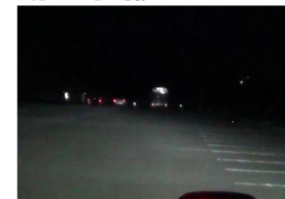
（1）走行状態で見通し体験（タクシー、バス）

実車を使用して運転者と同乗者を入れ替えながら、ロービームとハイビームの視認の違いを体験してもらいました。

それぞれの体験中に車内から撮影した動画です。下記画像をクリックしてご覧ください。



③ テールライトを消灯した前方車（左から自転車、バイク、乗用車、バス）を前方約100mの位置に配置し、自車ライトで照らした時の反射光から距離感の違いを体験しました。ハイビーム・ロービームとも。



【結果】

それぞれの車両の大きさや光度の違いで同じ距離でも見え方が違いました。バスや乗用車よりバイクや自転車の方が同じ距離でも遠い位置にいるように確認できました。

構成委員※団体名のみ記載（順不同）

グリーン交通株式会社

三ツ矢交通株式会社

有限会社みたけタクシー

有限会社つばめタクシー

有限会社草間タクシー

観光第一交通株式会社

勝平タクシー株式会社

株式会社中央タクシー

一般社団法人青森県タクシー協会

一般社団法人岩手県タクシー協会

一般社団法人宮城県タクシー協会

一般社団法人秋田県ハイヤー協会

一般社団法人山形県ハイヤー協会

山形県ハイヤー・タクシー協会

東北運輸局（事務局）

東北地域事業用自動車安全対策会議における

トラック分科会の活動概要（令和4年度）

1. 個別課題

飲酒運転事故防止、大型車の車輪脱落事故防止

2. 構成委員※団体名のみ記載（順不同）

第一貨物株式会社

東北三八五流通株式会社

東北新潟運輸株式会社

株式会社仙台配送

公益社団法人宮城県トラック協会

東北運輸局（事務局）

3. 検討会の開催

第1回検討会（令和4年8月9日）

第2回検討会（令和4年8月31日）

第3回検討会（令和5年3月9日）

4. 取り組み事項

飲酒運転事故防止

① 啓発動画の視聴による周知

飲酒運転事故ゼロの目標達成を目指し、運転者に対する指導監督時の啓発動画視聴により、飲酒運転の危険性について周知した。

大型車の車輪脱落事故防止

① 街頭点検を実施

冬タイヤへの交換等、車輪の脱着作業が多く発生する期間に、東北各県の街頭において大型車のホイール・ナットの緩みの有無をトルクレンチを用いて点検し、脱落の防止及び啓発活動を実施した。

② 「走る前、左後輪点検キャンペーン」の実施

貨物の積卸や休憩後などの走る前に左後輪の点検を行うことにより、脱落する前に異常に気付かせることを目的として、啓発動画とステッカーの作成及び配布を提案。「東北地域事業用大型車の車輪脱落事故防止協議会」において実施するとともに、動画視聴後の自己チェックの実施によりキャンペーンの浸透をはかった。

東北運輸局ホームページへの掲載



大型車のホイール・ナット緩み等による車輪脱落事故防止

<大型車の車輪脱落事故防止 街頭点検 実施状況>

大型車のホイール・ナットの取り付け状況を確認する街頭点検を実施しています。冬用タイヤ交換時には確実な作業の実施をお願いします！交換後は走行後の増し締めの実施や日常点検以外でもナットの緩みの確認（特に左後輪！）をお願いします！各県の実施状況です。



<走る前、左後輪点検キャンペーン実施中！>

東北運輸局では、大型車の車輪脱落事故を防止するため、東北トラック協会と連携して「走る前、左後輪点検キャンペーン」を実施し、啓発動画の公開を行っております。東北6県各トラック協会HPでも公開していますのでぜひご覧ください。

更なる事故削減のため、車輪脱落事故防止の教育にご活用ください。



（フルバージョン 6分58秒）

（ショートバージョン 1分16秒）

制作：東北トラック協会 監修：東北運輸局

<国土交通省プレスリリース 大型車の適切なタイヤ脱着・保守管理作業解説動画を公開！>

[プレスリリース](#)

[報道発表（国土交通省HPへ）](#)

[参考 適切なタイヤ脱着・保守管理作業手順啓発動画（抜粋）](#)

・適切なタイヤ脱着作業手順動画 画像をクリックで視聴できます。右は作業趣旨説明付きです。



（再生時間9分48秒）

（再生時間12分46秒）

・適切なタイヤ保守管理作業手順動画 画像をクリックで視聴できます。右は作業趣旨説明付きです。



（再生時間4分58秒）

（再生時間6分00秒）